

日本伝熱学会関西支部 第20期 第3回講演討論会  
(日本伝熱学会 環境・エネルギー技術研究会との合同企画)

日 時：平成25年12月10日(火) 13:30~16:50

会 場：京都大学ローム記念館 セミナー室

「固体高分子形燃料電池単セル内熱・物質移動現象解明のための多角的アプローチ」

西村 顕 氏 (三重大学大学院工学研究科)

固体高分子形燃料電池の単セル内における熱や物質の移動現象を解明するために取り組んでいるサーモグラフィを用いた温度計測とその測定データを用いた伝熱モデリングに関して講演して頂いた。

「航空機の空調設計について」

佐藤 理 氏 (島津製作所 航空機器事業部)

空気を冷媒としたエアサイクル方式を採用している航空機の空調システムに関して紹介して頂き、航空機のジェットエンジンから抽出した空気を活用する空調システムの設計や技術動向についても講演して頂いた。

「蛇行流路内粘弾性流体流れの熱流動特性」

巽 和也 氏 (京都大学大学院工学研究科)

粘弾性流体流れの不安定性や二次流れ形成について、マイクロ~ミリスケールの蛇行流路における低レイノルズ数流れの混合と伝熱促進、さらにはその流動特性について講演して頂いた。

「高空間分解能計測を実現するレーザードップラー速度プロファイルセンサーの開発と応用」

白井 克明 氏 (神戸大学 自然科学系先端融合研究環)

熱流体の高空間分解能・非接触速度計測を目指して開発されたレーザードップラー速度プロファイルセンサーの基本原理や性能に関して説明して頂き、様々な応用例とともに紹介して頂いた。

参加者：46名

講演討論会終了後、講演者をお招きし、京都大学桂キャンパス内のレストラン ラ・コリーヌにて活発な意見交換を行いました。(意見交換会参加者数：30名)



集合写真